

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会 新会長就任挨拶

(2019年6月13日懇親会挨拶より)



新会長 道浦正治

ただいまご紹介をいただきました通り、本日の臨時理事会におきまして会長の重責を拝命いたしました道浦でございます。どうぞよろしくお願いたします。

本日は、公務ご多忙にもかかわらず、経済産業省 製造産業局長 井上宏司様、国土交通省 住宅局 住宅生産課長 長谷川貴彦様はじめ、関係省庁の皆様、並びに当協会に関係の深い諸団体、報道関係の皆様にも多数ご参加いただき、誠にありがとうございます。

また、会員企業・団体の皆様方におかれましては当協会の運営に日頃より多大なご尽力を賜っておりますことを、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

それではまず始めに、前方のスクリーンにて今年度の新役員体制をご報告致します。

新任副会長として、大坪一彦様、高橋純一様にご就任いただきました。

また、理事につきましてもご覧いただいておりますように、2名の方が交代されておりますので、ご報告申し上げます。

なお、退任されました前会長の北野 亮 様、前副会長の瀬戸欣哉様をはじめ前理事の皆様には、当協会の運営に対して長年に亘り格段のご尽力、ご貢献を、いただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年度を振り返りますと、新設住宅着工戸数は 95.3 万戸で、前年比 100.7%とほぼ前年並みとなりました。今年度は 10 月の消費税増税の影響が不安視されていますが、今のところ大きな駆け込みも無く、反動も少ないかと思われます。これも「次世代住宅ポイント制度」や「住宅ローン減税の拡充」など、国の様々な緩和策のおかげと感謝申し上げます。

しかし中長期的には、皆様ご承知の通り、2030年には60万戸を下回るという予測が多く出されています。やはりリフォーム市場の活性化が益々重要となってまいります。

このような状況の中、政府が目指す新たな社会「Society5.0」実現に向け、経済産業省が提唱した「Connected Industries」の取組みも様々な分野で具体化が進んでいます。私たちの業界に関係するスマートライフ分野でも、まだまだ実証事業段階の取組みもありますが、スマートホーム市場は着実に活発化してきています。

その一つの事例が、住宅・建材分野にとどまらず、情報やサービスなどあらゆるモノが結びつき、あらたな価値を提供する「IoT 住宅」です。

当協会では一昨年から取組みを開始し、昨年度は標準化委員会に設置した「IoT 住宅研究部会」にて「IoT 住宅に設置が想定される住宅設備機器における機能安全規格の標準化に関する調査事業」を進めてまいりました。

今年度からは、部会名も研究から次の段階へと「IoT 住宅部会」に改名いたしました。昨年の調査事業の成果を基に、産業技術総合研究所との共同で3年計画の受託事業として「IoT 住宅普及に向けた住宅設備機器連携の機能安全に関する国際標準化と普及基盤構築」に取り組んでまいります。

また IoT 住宅に加え、「ZEH の普及促進」も国の大きな事業です。

昨年度から、経済産業省、国土交通省、環境省の三省連携で進められています。

当協会では、今年度も中小工務店向けテキスト「ZEH のつくり方」をアップデートし、ZEH の普及促進に貢献してまいります。

当協会は、このような国の方針を踏まえ、「IoT 住宅」「ZEH の普及促進」とともに今年度も事業のベースとなる3つの重点課題に取り組んでまいります。

1つ目は、リフォーム推進事業です。

一昨年から、新提案の「住宅の燃費」という考え方の普及に取り組んでいます。これは、住宅を最新仕様にリフォームした場合の、水道代も含めたトータルエネルギー費の削減効果をより分かりやすく表したもので、今年度も様々な場面でリフォーム喚起の新たなツールとして広めてまいります。

2つ目は、一般財団法人日本規格協会を通じての経済産業省からの受託事業である標準化事業です。

受託契約3年目を迎える「グリーン建材・設備製品に関する国際標準化事業」は、今年度中に国際規格の発行1件、国際規格原案への移行1件の実現を目指します。

また、アセアン展開については、ベトナムとインドネシアで、JIS ベースの国家規格発行までのフォローアップに加え新たな候補国への新規展開も進めてまいります。

3つ目は、「カタラボ」を中心とした情報提供サービスです。

カタラボは、昨年7月に2009年開設以来、初のデザイン全面リニューアルを実施しました。機能アップによる利便性の向上とPR活動の効果もあり、月間ページビューは9,300万を超え、掲載カタログ数も2,400冊を超えるなど順調に規模拡大しております。業界トップクラスの電子カタログ検索システムへ更なる進化を続けてまいります。

これらの重点課題以外に、優良断熱材認証活動やクリーンウッド法対応、VOC 指針値改定対応、さらに VOC 自主表示審査・調湿建材表示事業につきましても、業界動向を注視しながら鋭意展開をしてまいります。

当協会は、今年度も業界・団体のさらなる発展に貢献してまいり所存でございます。引き続き、皆様のご支援・ご協力のほど、何卒よろしく願いいたします。

結びにあたりまして、本日ご参加いただきました皆様のご健勝と団体ならびに企業各位の更なるご繁栄を祈念いたしまして私からのご挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。